

神学院での生活と私の召命

↑主の平安 いつも大変お世話になっております。梅雨の季節となりました。皆様におかれましてはお元氣で過ごしのことと存じます。私は慈しみ深い神の恵みの中で、前田司教様、三末司教様をはじめ、多くの方々のお祈りとご支援に支えられて、司祭職への召命の道を歩んでおります。心から感謝申し上げます。さて、今年の4月から日本カトリック神学院福岡キャンパスで神学科1年生として神学を学ばせてもらうことになりました。今年度、福岡キャンパスには23名の学生と養成者が6名います。神学科1年生10名、神学科2年生は6名、神学科3年生は7名です。

私は皆様のお祈りに支えられて、神学科1年生（神学生3年生）として神学院で学んでいます。勉学と祈りを大切にしながら、だんだん喜びを感じており、スポーツをすることを通して交わりを深めています。今では、生活リズムがついて一息つけることもあり、祈りと勉強、色々な人との関わりの中で過ごしています。勉強をしているのは霊性神学、倫理神学、教会法、ヘブライ語などです。私はベトナム人として、日本語で哲学や神学などを勉強するのは難しいです。毎日、精一杯頑張っていますが、日本語の能力がまだ足りなくて、知識も不足です。これから、福岡キャンパスで神学だけではなく日本語、日本の文化、日本の習慣なども、もっと深く勉強したいです。自分のペースを保って突き進んでいきたいと思えます。福岡キャンパスでの生活に慣れながら、人間的・知的・霊的・宣教師牧的に、少しずつでも成長していければと思っております。

宣教師実習では、今年度は福岡教区の小倉教会でお世話になっていきます。時間帯は毎週土曜日の午後から日曜日の午後までです。小倉教会では色々な活動に参加しながら、

様々なことを勉強することができると実感しております。司牧実習では侍者、ミサ準備、ミサ奉仕、教会学校での教話を担当していただきます。そして、教会の活動をよく観察して学ぶ合うひとときももっています。小倉教会での実習を通して、日本の教会のことを学びながら、信者さんだけでなく、未信者さんとも関わっていけるようになりたいです。

私はベトナムにある自分の家族と離れて、ずっと日本に住む所存です。皆様のお祈りと聖霊の助けによって、司祭になることを望んでいます。私の子供の頃からの夢は、司祭になりたいということでした。司祭になりたいと思っただけは子供の時にぶどう酒がおいしそうに見えたり、司祭の祭服がきれいだったり、司祭はとても偉い方だと思ったりしたことでした。しかし、今は司祭というイメージがだんだん変わってきました。司祭は神の特別な道具ではないですし、司祭は仕えるものです。私は善い司祭になることを望み、立派な司祭になれないかもしれませんが、普通の司祭になり、広島教区で働きたいと思えます。そして、司祭として皆様と繋がりたい、共に喜び、共に苦しみ、共に歩んでいきたいと考えております。もっと考えてみると、幸せは遠くにあるものではなく、今、ここにあると思います。身の周りの家族や隣人、知人などとの関係のことが大事であると思えます。

その上、人間は一人ぼっちで、生きていけないものだからといって、人から愛情ばかり求めているは一人前の人間にはなれないので、自由に楽しみなながら人と交わっていくのがもっと大切なことではないかと、ということ、今神学院で楽しみながら過ごしたいと考えています。また、自分の力に頼るのではなく、主の恵みの働きに心を開き、へりくだりと信仰を持って、主の招きに日々惜しみなく答える自由な心を新たにしていただけのように願いたいと思えます。

福岡キャンパス全員
ロイ神学生…後列左端



福岡キャンパス全員2
ロイ神学生…前列右端



福岡教区司祭団とスポーツ交流会



最後に、召命のためにお祈り、犠牲をささげてくださっているすべての恩人の方々を祝福し、それぞれの勤めを喜びのうちに果たしていくことができるように導き、神様のお恵みが皆様の上に豊かになるように祈っています。ペトロ ホアン・ドウク・ロイ